

探訪 チャレンジ企業 15

新技術で信頼の製品づくり
美川町・株式会社三光製作所

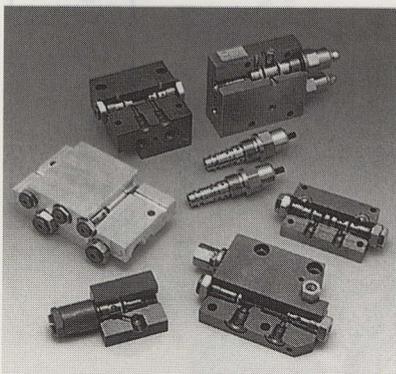


思いやりの技術発揮

世界に冠たる日本の技術は、単に日本人の器用さだけから生まれたものでない。多くの中小企業が、常に取引先企業のお役に立つ製品づくりを心がけ、その上で試行錯誤を恐れず、従来の技術の上に新技術を積み重ねて来た結果が、今日他の追従を許さぬ製品を生み出している。であり、こうした思いやりのある中小企業こそ、技術立国の真の親であり宝である。その典型の一つに、美川町長屋町の株式会社三光製作所がある。

会社の技術経歴

同社は創業が一九三八年で六二年の歴史をもち、技術一本で生き抜いて来た企業である。戦時中は軍需工場として海図分度器を製作、戦後は不二越と取り引きしマイクロメーターを製造、一九五一年から小松製作所と取り引きし、



建設機械等の製品性能を最大限に引き出すことを目標に開発・生産される三光製作所油圧バルブ

・もっと、性能を上げて他社製品と差をつけたい
・もっと、軽量化・小型化した
・もっと、コストを下げたい
・もっと、クレームを減らしたい
・もっと、安定供給を受けたい
等モア・アンド・モアの技術改善、社風を醸



人材を人財に育てる。社長の目標は、人材を人財に育てる。社長の目標は、人材を人財に育てる。

常に技術の発揮に努めたので、一九七六年には石川泉機械工業技術向上推進工場に指定され、一九八四年には小松品質管理賞を受賞する等精密・精巧な技術は、遺憾なく発揮かつ累積され、その結果一九九二年自社製品油圧バルブの開発・生産・販売を行うまでになった。

ポリシーの展開

同社のポリシーは、「お客様の製品性能を最大限に引き出すことを目標として油圧バルブの開発・生産・技術革新に取り組み」ということである。この思いやり技術の発揮は、

自社製品の展開

成し、このため取引先企業から絶大な信頼を得ている。

油圧バルブは、小松製作所・古河機械金属・住友建機・神戸製鋼所等が製造する建設機械、クレーン用、トンネル削岩機・フォークリフト用等実に多くの機械に取り付けられ、世界の各地で活躍している。特に中小企業の立場から多種少量・特需受注に徹し、モア・アンド・モアで共に研究し製作納品するので、大企業にとつて今や無くてはならない存在となっている。

社長の経営姿勢

社長建部勘次郎さんの motto は「企業は人なり」で如何に人材を人財たらしめるかであり、常に専門家を呼び、専門家のもつ知恵・技量等を享受しレベルアップを図る一方、アウトソーシングで合理



小型化、軽量化、低コストが(株)三光製作所のポリシー

化を図り、更に社長の即決即断でもって敏捷に対応できる体制が整備され活躍している。

むすび

思いやりの心をもつてモア・アンド・モアから生まれる製品は、次の技術発揮の土台となつて取引先企業の満足に結び付く。この流れは、正にチャレンジの考え・姿勢そのものであり、大いに誇り得る企業と推奨したい。

(お問い合わせ)
株式会社三光製作所

〒九二九一〇二二四

石川県石川郡美川町長屋町

ロー三〇一

TEL〇七六一七八五五六六

FAX〇七六一七八六三三七

メールアドレス

tatebe@po.incl.ne.jp

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。

今年は何工法

施行四十周年

の年です。

新しい時代への飛躍に向けて企業の明日を応援します。